

## シリーズ「放課後子ども教室推進事業」 初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

### 【第55回】

学校応援団ひろば事業「いけっこ」

東京都練馬区立石神井小学校長 齋藤 栄子

石神井小学校は今年で開校137年を迎え、「三宝寺池」と、「石神井池」の二つの大きな池を有する「東京都立石神井公園」、「石神井図書館」や「ふるさと文化館」に隣接する歴史と文化と豊かな自然に恵まれた環境にあります。

石神井小学校応援団「ひろば事業」は、平成21年9月より開始されました。名前も石神井公園にちなんで「いけっこひろば」です。平成22年度は登録者数341人で、火・木・金曜日にひろば室(視聴覚室)、図書室、校庭などを利用して実施しています。ひろば室では、長机を壁際に並べ、壁に向かって座ることで、一人で集中して学習や読書ができる「学習コーナー」、大きな布を敷き、遊びの後に散らばったレゴが収集しやすくなった「レゴコーナー」などきめ細かな工夫がされています。初年度に3回行った「工作教室」は、昨年からは、スタッフが付き添い移動する条件で、校舎の端にある「図工室」や「家庭科室」も活用し、ほぼ毎月実施しています。「ひろば事業」を通し、子供たちはルールを守って生活する力や異学年とも交流する力が成長してきています。また、「外国語活動」に関連した活動を「ひろば」でも取り入れたいとの願いから、スタッフの方が学校の外国語活動教員研修や講演会に何度も参加し、その主旨や活動方法の理解に努め、9月からは月2回「英語であそぼう」を開始しました。今年、都庁で行われた「学校支援ボランティア」のフォーラムにも学校職員と一緒に参加され、多くの支援事業の活動を学ばれました。本当にスタッフの皆様の熱意に敬意を表します。それを生かし、この夏休みには、学校と「ひろば事業」が協力し、サマースクールでの「科学教室」を計画しています。児童が「安心して」だけでなく、「有意義に過ごせる」放課後の居場所作りをめざし、多面的に児童・学校を支えてくださる皆様はまさに学校の応援団です。

(初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン)第184号に掲載)